

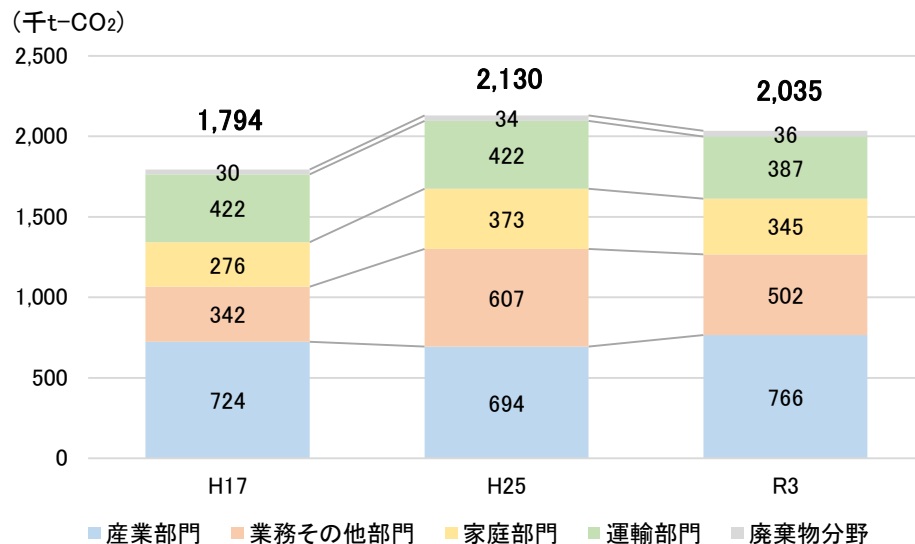
7. 環境・サステナビリティデータ

1) CO₂排出量・エネルギー消費

【つくば市のCO₂排出量】

令和3年の排出量は、産業部門による排出が最多で、業務その他部門、運輸部門、家庭部門の順で多くなっています。

■つくば市の部門別CO₂排出量の推移



各部門の定義：

【産業部門】製造業、農林水産業、鉱業、建設業におけるエネルギー消費に伴う排出

【業務その他部門】事務所・ビル、商業・サービス施設のほか、他のいずれの部門にも
帰属しないエネルギー消費に伴う排出

【家庭部門】家庭におけるエネルギー消費に伴う排出
自家用自動車からの排出は、「運輸部門（自動車）」で計上

【運輸部門】自動車、船舶、航空機、鉄道におけるエネルギー消費に伴う排出

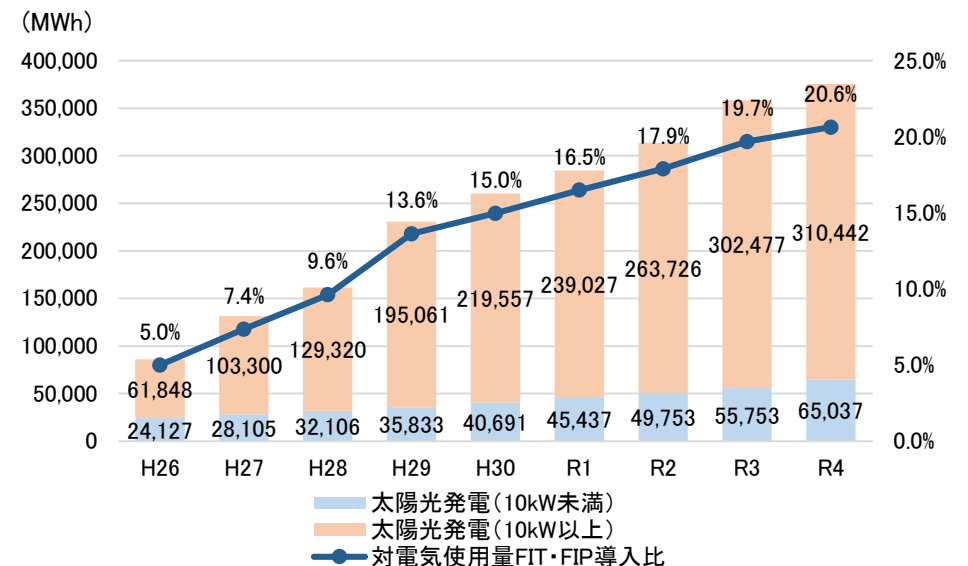
【廃棄物分野】廃棄物の焼却処分・埋立処分に伴い発生する排出、
排水処理に伴い発生する排出（排水処理）など

資料：環境省「自治体排出量カルテ」

【つくば市の再生可能エネルギー発電電力量】

市内では太陽光発電による発電電力量が増加傾向であり、住宅の屋根に設置する10kW未満の伸びよりも、遊休地などに設置する10kW以上（産業用）の伸びが大きくなっています。

■つくば市の部門別CO₂排出量の推移



用語の意味：

【FIT制度（固定価格買取制度）】電力会社による固定価格での買取制度

【FIP制度】再エネの売電価格に対し一定の「プレミアム（補助額）」を上乗せした金額が支払われる制度

資料：環境省「自治体排出量カルテ」

7. 環境・サステナビリティデータ

2) ごみ処理

【つくば市のごみ処理】

つくば市のごみ処理量は令和元年度まで増加傾向でしたが、令和2年度以降は横ばいとなっています。

ごみのリサイクル状況は、直接資源化量や中間処理後再生利用量が増加していることにより、リサイクル率は平成26年から令和4年にかけての9年間で15.9%から25.2%と約10%上昇しました。

■つくば市のごみ処理量とリサイクル率の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
ごみ処理量	88,963	92,921	91,362	91,284	94,222	95,128	93,982	94,944	94,084
直接資源化量	8,322	11,236	10,270	10,245	12,315	12,009	11,882	13,033	13,236
集団回収量	1,328	1,345	1,374	1,270	1,185	1,128	721	749	702
中間処理後再生利用量	4,706	4,895	4,688	4,977	5,562	7,221	7,965	8,197	9,925
リサイクル率	15.9%	18.5%	17.6%	17.8%	20.0%	21.1%	21.7%	23.0%	25.2%

$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}}$$

用語の定義：

【直接資源化量】自治体等が資源物として収集し、リサイクル業者へ直接搬入されたごみ量

【集団回収量】小学校や町内会などの地域団体が資源物として収集し、リサイクル業者に搬入されたごみ量

【中間処理後再生利用量】焼却施設などの中間処理で発生した残渣のうち資源として利用された量

資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

